

財務状況把握の結果概要（簡略版）

（対象年度：令和5年度）

北海道財務局作成

斜里町

総合評価

債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

資金繰り状況

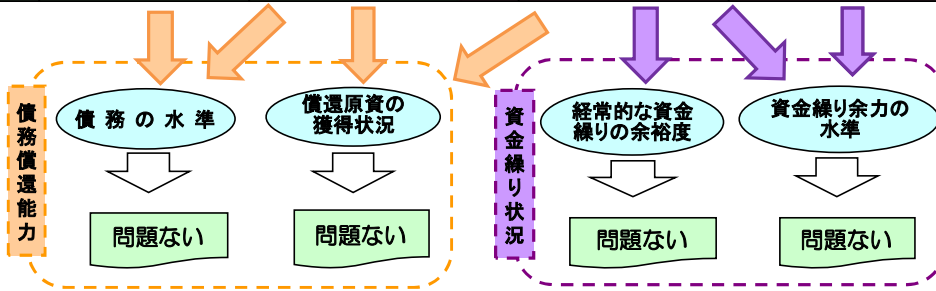
〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

留意すべき状況にはないと考えられる

4つの財務指標結果

指標	① 実質債務月収倍率	② 債務償還可能年数	指標	③ 行政経常収支率	④ 積立金等月収倍率
	$\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$	$\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$		$\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$	$\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$
	※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標		※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月		問題なし	20.0%	5.6月
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	10.7月	4.4年	注意	0.0%	1.0月



留意点等と今後の見通し

○今後の財政運営について

貴町の財政状況について、債務償還能力及び資金繰り状況は現時点で留意すべき状況にはない。庁舎耐震化等の大型事業に伴い一時的に地方債現在高が増加したものの、その後は起債抑制により債務指標は改善している。さらに、安定的な行政経常収支の確保により、積立系統及び収支系統の指標も改善傾向にある。一方、今後は広域中間処理施設や国保病院改築といった大型事業が続くことで、地方債現在高の増加や基金取崩により、財政余力の低下が見込まれる。加えて、少子高齢化や物価高騰により行政経常収支も減少する見通しである。今後は起債と償還のバランス、基金の確保、事業優先度の整理、経常経費の効率化により、計画的かつ持続可能な財政運営を期待したい。

○斜里町国保健康保険病院について

斜里町国保健康保険病院は24時間の救急医療及び透析医療を行う医療機関として北網圏域内及び当地で必要とされる医療を確保してきた。

一方、人口減少に伴う患者数の減少により病床利用率が低下し、入院収益が大きく落ち込んでいるほか、地域医療構想に基づき従前急性期から転床を行った地域包括ケア病床について、常勤医師不足により再度急性期病床へ転床が行われるなど、地域医療機能を維持するための人材確保も課題となっている。また、一般会計から病院会計に対する繰入金残高は財政を圧迫している水準と言える。

こうした状況のもと、国のガイドラインに基づき「斜里町国民健康保険病院経営強化プラン(令和6～9年度)」を策定し、収益の確保や費用の適正化、及び常勤医師確保への取組などの経営基盤強化を図っている。人口減少と高齢化で医療需要の縮小が見込まれるが、一般会計の財政負担に配慮しつつ、改善策の着実な実行による経営安定化と地域医療機能の維持を期待したい。

○漁業について

漁業は貴町における基幹産業の一つであり、サケ定置網漁業を中心に発展し、平成15年度から令和2年度まで18年連続、さらに令和4・5年度も全国一位のサケ漁獲量を誇るなど、日本有数の漁業拠点となっている。一方、近年はサケ・マス資源の減少傾向や燃油価格の高騰、漁業経営の収益性低下など、資源管理と経営安定化の両立が急務である。

こうしたなか、貴町では浜の活力再生プラン(令和6～10年度)に基づき、資源保全、経営改善、ブランド化、担い手育成を柱とする包括的施策に取り組んでいる。令和6年度では、サケ・マスふ化増殖事業の安定化や自然産卵環境の再生、浅海資源の増殖と環境保全を進め、衛生管理体制の向上やブランド化、6次産業化による販路拡大を目指す、地域ブランドの確立を進めている。こうした基幹産業への取組は、就業者の所得向上および貴町税収の増加に繋がることから、引き続き各種取組による貴町経済の活性化に期待したい。